

i 李登輝・台湾前総統きょう来日 文化交流目的の家族旅行で

FujiSankei Business i. 2007/5/30

初の東京訪問や講演も

台湾前総統の李登輝氏(84)が30日から6月9日まで訪日する。2000年5月の総統退任後、3度目の訪日だが、今回初めて東京を訪れるほか講演や記者会見も行う。曾文惠夫人なども同行する家族旅行で、李氏は今回の訪日を「文化と学术交流を目的とする私的な観光旅行」と位置付けている。

中嶋嶺雄・国際教養大学学長の招きに応じた今回の訪日は、04年末から05年初めに京都や金沢を旅行して以来、前回までの訪日はビザ(査証)が必要だったが、05年の法改正で台湾人旅行者にビザが免除されたため、今回は初のビザなし訪日となる。外務省は「総統を退任した私人」として訪日を静観する構えだ。



台湾前総統の李登輝氏

李氏は台北から中華航空機で成田入り。6月1日に都内で後藤新平賞の授賞式の後、「後藤新平と私」と題する記念講演を行う。その後、6日まで李氏がかねて探訪を希望していた松尾芭蕉「奥の細道」ゆかりの地、宮城、山形、岩手、秋田の各県を静かに訪れる。

李氏は日本統治下の台湾に生まれ、京都帝大に学んだ親日派。6日に秋田の国際教養大で「日本の教育と台湾・私が歩んだ道」と題する特別講義も行い、日本の学生にメッセージを送ることにしている。7日には都内のホテルで「2007年以後の世界情勢」と題する一般向け講演も行う。

李氏には夫人のほか長男(故人)の妻、孫娘に加え、医療関係者、警備担当者も同行。一行は十数人に上る見通しだ。(河崎真澄)

フジサンケイビジネスアイの購読のお申し込みはフリーダイヤル0120-46-3150

Copyright(C)2007,FujiSankei Business i.

FujiSankei Business i on the webに掲載されている記事・写真の無断転載を禁じます。
すべての著作権はフジサンケイビジネスアイまたは情報提供者に帰属します。